

# 第3期千葉県がん対策推進計画 の中間評価について(がんとの共生)

## (平成30年度～令和5年度)

千葉県健康福祉部健康づくり支援課

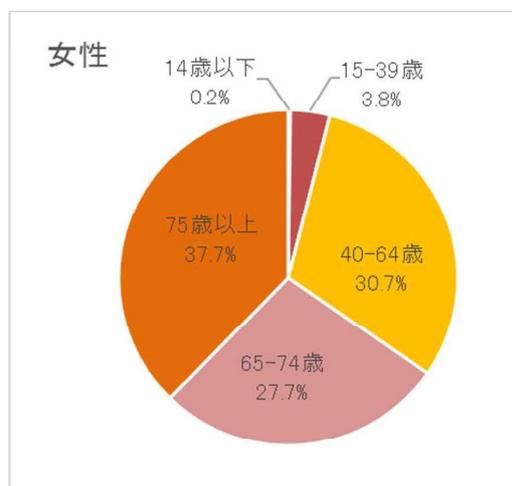
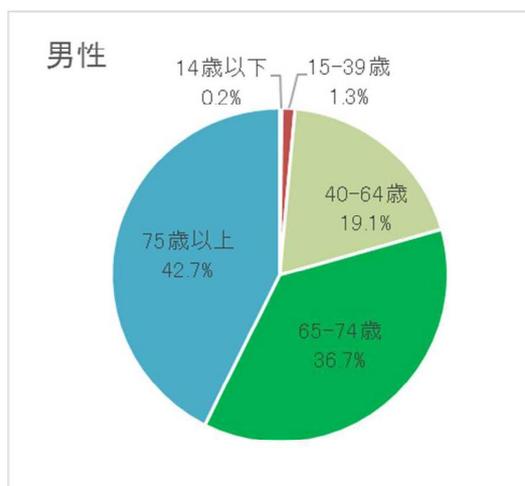
1

### がんの罹患状況（千葉県、2017年）

出典：千葉県がん登録事業報告書（第25報、2017年確定値）

2017年

年齢階級	14歳以下	15-39歳	40-64歳	65-74歳	75歳以上	計
男性	56	341	5,216	10,013	11,623	27,249
女性	40	722	5,889	5,314	7,238	19,203
総数	96	1,063	11,105	15,327	18,861	46,452



2

## 相談支援について

出典：国立がん研究センター「患者体験調査」（平成30年度、千葉県結果）

問12 がんが診断されてから治療を始める前の間に、病気のことや療養生活に関して誰かに相談することができましたか(a-cのうちお一つをお選び下さい) (対象：問11で「a. 診断される前に治療が開始されていた」、もしくは、「g. 治療なし」と回答した人は除外)

		粗解析値		補正值		全国値(補正值)	
		回答数	%	代表数	%	代表数	%
1	相談を必要としなかった	80	20.2%	3385	20.6%	90814	19.5%
2	相談が必要だったが、できなかった	15	3.8%	419	2.5%	16717	3.6%
3	相談できた	294	74.2%	12379	75.2%	347102	74.4%
	無回答	7	1.8%	274	1.7%	11694	2.5%
	合計	396	100%	16457	100.0%	466327	100.0%

問12c 誰に相談しましたか(相談した人すべてに○を付けてください)  
(対象：問12で「相談できた」と回答した人のうち)

		粗解析値		補正值		全国値(補正值)	
		回答数	%	代表数	%	代表数	%
1	主治医	180	61.2%	7742	62.5%	231537	66.7%
2	看護師	33	11.2%	1027	8.3%	34192	9.9%
3	医師、看護師以外の医療スタッフ	16	5.4%	687	5.5%	25720	7.4%
4	がん相談支援センターの担当者	10	3.4%	255	2.1%	13371	3.9%
5	自分の家族	207	70.4%	8718	70.4%	241632	69.6%
6	友人	46	15.6%	1995	16.1%	45743	13.2%
7	他のがん患者(患者団体を含む)	8	2.7%	355	2.9%	10260	3.0%
8	インターネットの相談(質問)サイト	8	2.7%	325	2.6%	6366	1.8%
9	その他	5	1.7%	223	1.8%	5106	1.5%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	807	0.2%

\*複数回答設問

3

## 相談支援について

出典：国立がん研究センター「患者体験調査」（平成30年度、千葉県結果）

問31 がん相談支援センターを知っていますか(aもしくはbをお選び下さい)

		粗解析値		補正值		全国値(補正值)	
		回答数	%	代表数	%	代表数	%
1	知っている	272	64.8%	11310	64.6%	316127	64.5%
2	知らない	141	33.6%	5857	33.4%	159980	32.6%
	無回答	7	1.7%	345	2.0%	14071	2.9%
	合計	420	100.0%	17512	100.0%	490178	100.0%

問31-1 これまでに利用したことはありますか(対象：問31で「知っている」と回答した人のうち)

		粗解析値		補正值		全国値(補正值)	
		回答数	%	代表数	%	代表数	%
1	利用したことはない	231	84.9%	9818	86.8%	268090	84.8%
2	利用したことがある	40	14.7%	1442	12.7%	45003	14.2%
	無回答	1	0.4%	50	0.4%	3034	1.0%
	合計	272	100.0%	11310	100.0%	316127	100.0%

問31-3 がん相談支援センターを利用してどの程度役に立ったと思いますか  
(対象：問31-1で「利用したことがある」と回答した人のうち)

		粗解析値		補正值		全国値(補正值)	
		回答数	%	代表数	%	代表数	%
1	とても役に立った	8	20.0%	363	25.1%	14872	33.0%
2	ある程度役に立った	19	47.5%	667	46.2%	17943	39.9%
3	やや役に立った	2	5.0%	53	3.7%	6248	13.9%
4	どちらともいえない	6	15.0%	172	11.9%	4071	9.0%
5	役に立たなかった	5	12.5%	187	13.0%	1816	4.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	53	0.1%
	合計	40	100.0%	1442	100.0%	45003	100.0%

4

## 相談支援について

出典：国立がん研究センター「患者体験調査」（平成30年度、千葉県結果）

問31-2 利用しなかった理由をお聞かせください(対象:問31-1で「利用したことはない」と回答した人のうち)

	粗解析値		補正值		全国値(補正值)	
	回答数	%	代表数	%	代表数	%
1 必要としていたときには知らなかった	26	11.3%	1067	10.9%	30681	11.4%
2 相談したいことはなかった	142	61.5%	6469	65.9%	163235	60.9%
3 何を相談する場なのかわからなかった	30	13.0%	1232	12.6%	29654	11.1%
4 プライバシーの観点から行きづらかった	3	1.3%	183	1.9%	7580	2.8%
5 自分の相談を受け止めてもらえるか自信がなかった	19	8.2%	794	8.1%	15634	5.8%
6 他の患者の目が気になった	0	0.0%	0	0.0%	3099	1.2%
7 その他	4	1.7%	132	1.3%	7044	2.6%
無回答	28	12.1%	1027	10.5%	33678	12.6%

\*複数回答設問

問32 ピアサポートを知っていますか(a もしくはb をお選び下さい)

	粗解析値		補正值		全国値(補正值)	
	回答数	%	代表数	%	代表数	%
1 知っている	109	26.0%	4847	27.7%	128915	26.3%
2 知らない	294	70.0%	11814	67.5%	342835	69.9%
無回答	17	4.0%	851	4.9%	18429	3.8%
合計	420	100.0%	17512	100.0%	490178	100.0%

5

## 就労状況について

出典：国立がん研究センター「患者体験調査」（平成30年度、千葉県結果）

問24 患者さんは、がんと診断された時、収入のある仕事をしていましたか(a もしくはb をお選び下さい)

	粗解析値		補正值		全国値(補正值)	
	回答数	%	代表数	%	代表数	%
1 はい	197	46.9%	7998	45.7%	213503	43.6%
2 いいえ	219	52.1%	9334	53.3%	269344	54.9%
無回答	4	1.0%	179	1.0%	7331	1.5%
合計	420	100.0%	17512	100.0%	490178	100.0%

問29 がん初めて治療・療養した以降の仕事状況についてお答えください。  
問29(1) がんと診断された時のお仕事について、がん治療のために以下のようなことがありましたか(○は1つ)

	粗解析値		補正值		全国値(補正值)	
	回答数	%	代表数	%	代表数	%
1 休職・休業はしたが、退職・廃業はしなかった	101	51.3%	3992	49.9%	108294	50.7%
2 退職・廃業した	43	21.8%	1733	21.7%	39548	18.5%
3 上記のようなことはなかった	38	19.3%	1675	20.9%	51992	24.4%
4 わからない	3	1.5%	122	1.5%	3763	1.8%
無回答	12	6.1%	476	5.9%	9905	4.6%
合計	197	100.0%	7998	100.0%	213503	100.0%

6

# 就労状況について

休職・休業された方にお尋ねします。  
 問29(2) 休職・休業中に利用した制度や働き方についてお答えください。(当てはまるものすべてに○)(対象：問29(1)で「a 休職・休業はしたが、退職・廃業はしなかった」と回答した人のうち)

	粗解析値		補正值		全国値(補正值)	
	回答数	%	代表数	%	代表数	%
1 有給休暇	51	50.5%	1868	46.8%	48467	44.8%
2 有給休暇以外の金銭的保障(賃金、疾病手金、相互組合、共済会からの見舞金等を伴う休み)	31	30.7%	1070	26.8%	34405	31.8%
3 金銭補償を伴わない休み	37	36.6%	1538	38.5%	38240	35.3%
4 その他	4	4.0%	210	5.3%	2692	2.5%
無回答	5	5.0%	242	6.1%	6631	6.1%

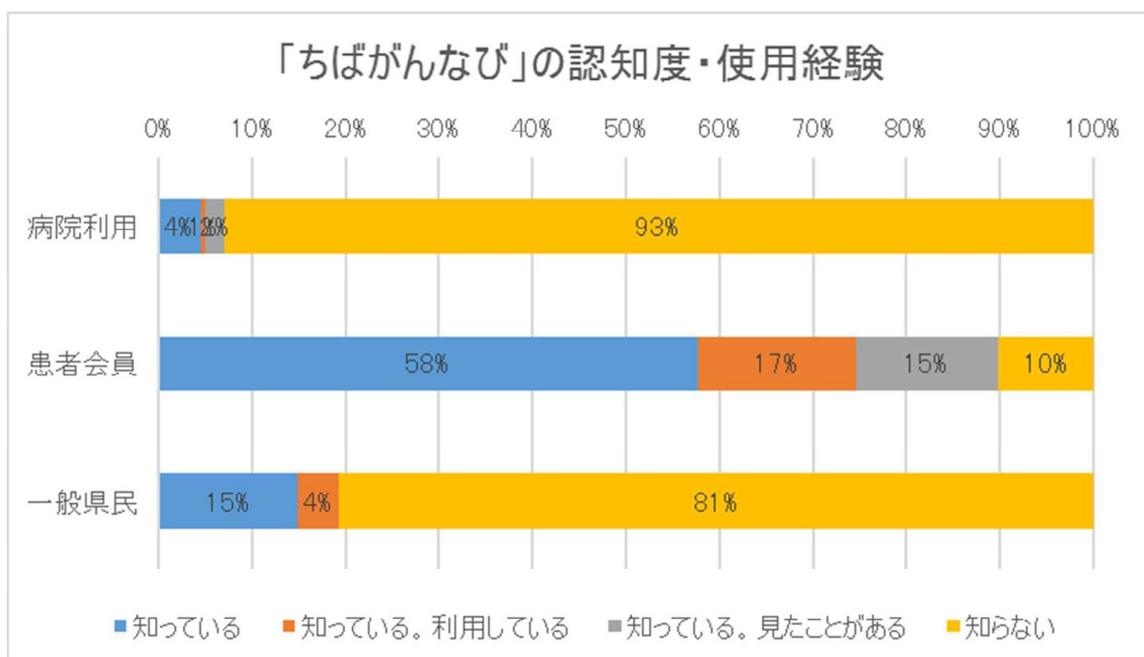
\*複数回答設問

退職・廃業をされた方にお尋ねします。  
 29(3) 退職のタイミングをお聞かせください。(○は1つ)  
 (対象：問29(1)で「b. 退職・廃業した」と回答した人のうち)

	粗解析値		補正值		全国値(補正值)	
	回答数	%	代表数	%	代表数	%
1 がんの疑いがあり診断が確定する前	3	7.0%	159	9.2%	2303	5.8%
2 がん診断直後	13	30.2%	559	32.3%	12604	31.9%
3 診断後、初回治療を待っている間	7	16.3%	240	13.8%	6113	15.5%
4 初回治療中	3	7.0%	181	10.4%	4295	10.9%
5 初回治療後から当初予定していた復職までの間	6	14.0%	200	11.5%	6466	16.3%
6 一度復職したのち	6	14.0%	308	17.7%	3998	10.1%
7 その他	3	7.0%	68	3.9%	1161	2.9%
無回答	2	4.7%	20	1.1%	2609	6.6%
合計	43	100.0%	1733	100.0%	39548	100.0%

7

# 「千葉県がん情報 ちばがんナビ」の利用



出典：千葉県のがん対策に関するアンケート（令和2年度）

8

# 第3期 千葉県がん対策推進計画の概要

基本理念： ちからを合わせてがんのうち克つちば

## 全体目標

1 がんによる死亡率を減らしていきます  
(75歳未満のがんによる年齢調整死亡率の12%減少)

2 がん患者とその家族が、がんと向き合いながら、生活の質を維持向上させ、安心して暮らせる社会を目指します

## 施策の体系

### 予防・早期発見

#### 予防

- ・たばこ対策の充実
- ・生活習慣等の改善
- ・がんの予防の知識の普及啓発

#### 早期発見

- ・がん検診の受診率の向上
- ・がん検診の精度管理等

### がんとの共生

#### 緩和ケアの推進

- ・がんと診断された時からの緩和ケアの推進
- ・地域緩和ケアの推進

#### 相談・情報提供・患者の生活支援

- ・相談支援の充実
- ・情報提供の充実
- ・就労支援の充実

#### がん教育

- ・がん教育の推進

#### 子ども・AYA世代に応じたがん対策

- ・子ども・AYA世代に応じたがん対策の推進
- ・情報提供の充実

### 医療

#### がん医療の充実

- ・がん診療連携拠点病院等及び千葉県がん診療連携協力病院を中心としたがん医療提供体制の推進
- ・地域医療連携体制の構築
- ・がん医療を担う人材育成
- ・がんゲノム医療の提供体制づくりの検討
- ・ライフステージに応じたがん診療
- ・希少がん、難治性がんの診療の質の向上、情報の提供
- ・口腔ケアに関する医科歯科連携

### 研究

#### がん研究

- ・基礎研究・橋渡し研究の推進
- ・臨床研究（臨床試験・治験等）の促進
- ・将来のがん予防のための疫学研究の推進

#### がん登録

- ・全国がん登録の運用、情報の活用
- ・院内がん登録の精度向上、分析と公表

# 全体目標

## 【全体目標1】

がんによる死亡率を減らしていきます

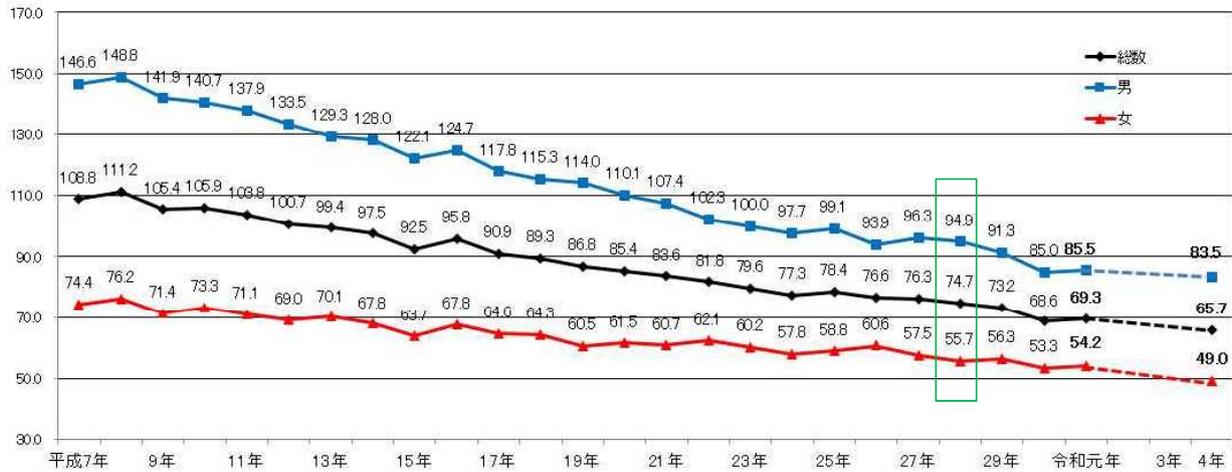
<数値目標>平成28年の数値と比較して、今後6年間の目標数値として、75歳未満のがんによる年齢調整死亡率の12%減少

## 【全体目標2】

がん患者とその家族が、がんと向き合いながら、生活の質を維持向上させ、安心して暮らせる社会を目指します

# 【全体目標1】 がんによる死亡率の減少

■75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）



出典：都道府県別死亡データ（国立がん研究センターがん対策情報センター）

75歳未満の年齢調整死亡率は、令和元年とその10年前である平成21年を比較すると、男性20.4%減、女性10.7%減、全体で17.1%減となっている。

## がんとの共生の分野における施策の方向性

### （1）相談・情報提供・患者の生活支援

#### ①相談支援の充実

##### ○がん相談支援センターの周知と充実

がん診療連携拠点病院は、相談員の資質向上のため、国立がん研究センターが実施する相談員研修の受講を推奨します。

拠点病院

千葉県がん診療連携協議会を中心に、各がん診療連携拠点病院等の相談員間の連携やがん診療連携拠点病院を始めとする県内病院のがんに関わる相談員向け研修会を推進します。

診療連携協議会

がん診療連携拠点病院は、院内・院外での相談支援センターの周知・理解を図ります。特に院内においては、患者が治療の早期からがん相談支援センターの存在を認識確実に支援を受けることができるよう、主治医等の医療従事者が、診断早期に患者や家族へがん相談支援センターについて説明することなど、がん相談支援センターの利用を促進させるための方策を検討します。また、院外においては、がん診療連携協議会を通じ病院間の相談支援の連携協力の体制づくりを推進します。

拠点病院  
県

県は、がん相談支援センターの周知を支援します。

##### ○千葉県地域統括相談支援センターの充実

がん医療や療養生活、緩和ケア、介護、福祉、地域との連携、患者会、患者サロン等、多様化する幅広い相談に対応する体制を整えると共に、患者・家族のライフステージに応じた有効な情報をホームページや小冊子等でわかりやすく発信します。また、がん体験者が他の患者・家族の悩みを聴いたり、自らの体験を語るピア・サポーターの活動を支援します。

県  
がんセンター

# がんとの共生の分野における施策の方向性

## (1) 相談・情報提供・患者の生活支援

### ○ピア・サポーターの育成・活用

県は、ピア・サポーターを育成し、フォローアップ研修等を通じて、ピア・サポーターの資質の向上に努めます。また、県がんセンターと連携してがん診療連携拠点病院や患者サロン等でのピア・サポーターの活動の場を拡大します。	県がんセンター
県及びがん診療連携拠点病院は、患者会・患者サロンの広報をします。	県拠点病院
県は、患者会等が行うがん患者支援に資する自主的な活動に協力します。	県

## ②情報提供の充実

### ○「千葉県がん情報 ちばがんナビ」「千葉県がんサポートブック」の周知と充実

「県及び千葉県地域統括相談支援センターは、「千葉県がん情報 ちばがんナビ」「千葉県がんサポートブック」について、国、国立がん研究センターがん対策情報センター、医療機関、市町村、患者会等と連携し、情報をさらに充実させ発信します。	県がんセンター
県及び千葉県地域統括相談支援センターは、「千葉県がん情報 ちばがんナビ」「千葉県がんサポートブック」のさらなる周知を行います。	県がんセンター

### ○患者の生活を支援する情報の提供

県及びがん診療連携拠点病院は、がん治療に伴う、外見（アピアランス）の変化や治療等にかかる経済的な問題、がん治療中の食欲低下や体力回復に向けた食生活支援等の、がん患者・経験者のQOL向上に向けた情報を、「千葉県がん情報 ちばがんナビ」やがん診療連携拠点病院のホームページ等で発信します。	県拠点病院
--	-------

13

# がんとの共生の分野における施策の方向性

## (1) 相談・情報提供・患者の生活支援

がん診療連携協議会では、がん相談支援センターが適切な情報を提供できるような支援体制の検討を行います。	診療連携協議会
--	---------

## ③就労支援の充実

### ○厚生労働省千葉労働局等と協働し、就労支援に関する情報を提供

厚生労働省千葉労働局が中心となって設置している「千葉県地域両立支援推進チーム」等と協働しながら、患者・家族、企業、医療従事者等に対し、就労支援に関する情報を提供していきます。	厚生労働省 県 拠点病院
---	--------------------

### ○就労支援に関する相談支援体制の周知と充実

患者・家族に限らず、誰でも相談できる窓口として、がん診療連携拠点病院等に設置されているがん相談支援センターを、事業者の相談窓口として、千葉産業保健総合支援センターの周知を図っていきます。また、がん相談支援センター等で実際に対応する看護師、相談員等に対し、相談対応能力の向上を図るため、研修会の受講を促進していきます。	拠点病院
--	------

### ○復職・就労支援に関する企業向けの情報提供

平成28年3月に公表した「がん患者の就労支援に関する情報提供書」及びリーフレット「がんと診断されても、すぐに仕事を辞めないで」について、活用促進のために周知を図ると共に、より活用されやすいものとなるよう、活用状況による改善等に取り組んでいきます。	県
従業員と企業、それぞれに対し、就労継続のために必要な情報をまとめた資料を作成し、がんについて正しく理解することで、治療と仕事の両立が可能となるよう呼びかけていきます。	県

14

# がんとの共生の分野における施策の方向性

## (1) 相談・情報提供・患者の生活支援

### ○就労に関するニーズや課題についての実態調査

がん患者が就労継続しやすい環境を整えるため、企業に対して実態調査を行い、そこから得られた課題について対策を検討していきます。

県

## (2) がん教育

### ①がん教育の推進

#### ○健康と命の大切さを学ぶがん教育の推進

県は、市町村、教育機関、医師会、患者団体等の協力のもと、がんに対する正しい知識、がん患者への理解を通じ、健康と命の大切さに対する認識を深めるためのがん教育を推進します。また、子どもたちが、がんに関する正しい情報を自ら収集できるよう、「千葉県がん情報 ちばがんナビ」・「国立がん研究センター がん情報サービス」の周知を図ります。

県

県は、がん教育を実施している団体等を把握し、周知することで、外部講師の活用体制を整備し、がん教育の充実に努めます。

県

県は、教員に対するがん教育の意義の理解促進、教員及び外部講師に対する教材・指導案及び指導上の留意点等の周知を図るため、国の動向を踏まえ、研修会等の実施を検討します。

県

15

## 本日の論点

- 「がん相談支援センター」の認知度を高めていくために関係機関が行えることは何か。
- 治療と仕事が両立できるよう患者の情報を事業者と共有するための「情報提供書」の認知度向上、利活用を進めるためにはどのような取組が必要か。
- 「千葉県がん情報 ちばがんナビ」の認知度をさらに高めていくために出来ることは何か。

16

# 千葉県がん対策推進計画の取組（がんとの共生 令和3年9月末時点）

施策の体系			実施主体	取組状況	課題及び今後の取組	目標に対する進捗状況							
大項目	中項目	小項目				項目	計画改定時点	目標 <令和5年度>	現状値	達成状況 (%)			
3	がんとの共生	① 相談・情報提供・患者の生活支援	がん相談支援センターの周知と充実			<p>千葉県ホームページ、千葉県がん情報「ちばがんナビ」、がんサポートブックにおいてがん相談支援センターについて紹介するとともに、各がん診療連携拠点病院においては、院内の各所に相談支援センターの案内を掲示する等、認知度の向上に努めている。</p> <p>病院を受診する早期の段階で、がん相談支援センターの案内を行うこと、また、気軽に利用できることを認知していただく必要があることから、引き続き、千葉県ホームページ、千葉県がん情報「ちばがんナビ」、がんサポートブックにおいてがん相談支援センターについて紹介するとともに、各がん診療連携拠点病院においては、院内の各所に相談支援センターの案内を掲示する。また、「ちばがんナビ」の認知度の向上に努める。</p>	がん相談支援センターの認知度	60% (平成29年度)	増加する	58% (令和2年度)	やや悪化		
			がん相談支援センターの相談件数	64,557件 (平成27年1月1日～12月31日)	増加する		49,733件 (H30.1.1～12.31)	未評価 (特殊事情あり)					
			がん相談支援センター利用者の満足度	91% (平成29年度)	増加する		85% (令和2年度)	やや悪化					
		ピア・サポーターの育成・活用			<p>千葉県がピア・サポーター養成研修を5回開催、現在実習生を含め117名のピア・サポーターが活動している。</p> <p>ピア・サポーターズサロンちばでは、令和2年8月から新型コロナウイルス感染症の影響により、リモート開催へと切り替え、「千葉県がんセンター 千葉県地域統括相談支援センター」を事務局に、月に2日開催している。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえたうえで今後の対応を検討していく必要があることから、引き続き、リモートによるサロンを開催していくとともに、対面によるサロンの再開も検討し、リモートと両方を活用しながら、さらに幅広く多くの患者に対応していき、サロンの充実を図る。</p>	ピア・サポーターの活動の場	14病院でサロン開催 (平成29年度)	増加する	14病院 (令和元年度)	ほぼ横ばい		
		<p>県は、ピア・サポーターを育成し、フォローアップ研修等を通じて、ピア・サポーターの資質の向上に努めます。</p> <p>また、県がんセンターと連携してがん診療連携拠点病院や患者サロン等でのピア・サポーターの活動の場を拡大します。</p>	県	<p>現在15か所のがん診療連携拠点病院等で患者サロンを実施しており、千葉県ホームページ、千葉県がん情報「ちばがんナビ」、がんサポートブックにて、患者会・患者サロンについて周知している。</p>								<p>引き続き、千葉県ホームページ、千葉県がん情報「ちばがんナビ」、がんサポートブックにて、患者会・患者サロンについて周知をしていく。また、千葉県がん情報「ちばがんナビ」の認知度の向上に努める。</p>	
		<p>県及びがん診療連携拠点病院は、患者会・患者サロンの広報をします。</p>	県拠点病院	<p>がん患者とその家族が必要な支援を受けられる社会の実現を目指して開催されている「千葉県がん患者大集合」にて、県では毎年協働で取り組んでおり、その他の患者会等が行うがん患者支援に資する自主的な活動に対しても後援や共催等によって、協力していく。</p>									
		<p>県は、患者会等が行うがん患者支援に資する自主的な活動に協力します。</p>	県										
		② 情報提供の充実			「千葉県がん情報 ちばがんナビ」、「千葉県がんサポートブック」の周知と充実			<p>引き続き、国、国立がん研究センターがん対策研究所、医療機関、市町村、患者会等と連携し、「千葉県がん情報 ちばがんナビ」にて掲載している情報の充実等に随時取り組むとともに、「千葉県がんサポートブック」を発行し、関係機関へ配布している。</p>	「千葉県がん情報 ちばがんナビ」の認知度の増加	17% (平成29年度)	増加する	19.3% (令和2年度)	概ね順調
		<p>県及び千葉県地域統括相談支援センターは、「千葉県がん情報 ちばがんナビ」「千葉県がんサポートブック」について、国、国立がん研究センターがん対策情報センター、医療機関、市町村、患者会等と連携し、情報をさらに充実させ発信します。</p>	県がんセンター	<p>千葉県ホームページにて、「千葉県がん情報 ちばがんナビ」「千葉県がんサポートブック」について紹介するとともに、「千葉県がんサポートブック」の作成後は、関係機関を通じて患者等に配布するなど、認知度の向上に努めている。</p>	<p>「千葉県のがん対策に関するアンケート」において、「千葉県がん情報 ちばがんナビ」について、知らないと回答した方の割合が2割程度だが増加傾向ではあることから、県民への認知度を向上させるよう、効果的な周知を行っていく必要がある。引き続き、千葉県ホームページにて、「千葉県がん情報 ちばがんナビ」「千葉県がんサポートブック」について紹介するとともに、「千葉県がんサポートブック」の作成後は、関係機関を通じて患者等に配布する。また、「千葉県がん情報 ちばがんナビ」においては、地域住民やがん患者のニーズに合わせた情報をさらに充実させ、発信していく。</p>								
<p>県及び千葉県地域統括相談支援センターは、「千葉県がん情報 ちばがんナビ」「千葉県がんサポートブック」のさらなる周知を行います。</p>	県がんセンター												
患者の生活を支援する情報の提供			<p>県及びがん診療連携拠点病院は、がん治療に伴う、外見(アピアランス)の変化や治療等にかかる経済的な問題、がん治療中の食欲低下や体力回復に向けた食生活支援等の、がん患者・経験者のQOL向上に向けた情報を、「千葉県がん情報 ちばがんナビ」やがん診療連携拠点病院のホームページ等で発信します。</p>			県拠点病院	<p>がん治療に伴う、外見(アピアランス)の変化や治療等にかかる経済的な問題、がん治療中の食欲低下や体力回復に向けた食生活支援等の、がん患者・経験者のQOL向上に向けた情報を、「千葉県がん情報 ちばがんナビ」やがん診療連携拠点病院のホームページ等で発信している。</p>	<p>引き続き、がん治療に伴う、外見(アピアランス)の変化や治療等にかかる経済的な問題、がん治療中の食欲低下や体力回復に向けた食生活支援等の、がん患者・経験者のQOL向上に向けた情報を、「千葉県がん情報 ちばがんナビ」やがん診療連携拠点病院のホームページ等で発信していく。</p>					



【がんとの共生】

個別目標	3-6 がん相談支援センターの認知度
用いる調査	千葉県がん対策に関するアンケート調査（千葉県）

計画改定時点	目標	目標年度	現状値	達成状況
60% (平成29年度)	増加する	令和5年度 (平成35年度)	58% (令和2年度)	やや悪化

取組状況
千葉県ホームページ、千葉県がん情報「ちばがんナビ」、がんサポートブックにおいてがん相談支援センターについて紹介するとともに、各がん診療連携拠点病院においては、院内の各所に相談支援センターの案内を掲示する等、認知度の向上に努めている。

評価	コメント
B	国立がん研究センターが実施した「患者体験調査」においても、がん相談支援センターを知っていると回答した方が3分の2にとどまっており、やや悪化傾向である。

目標達成等に必要な課題
病院を受診する早期の段階で、がん相談支援センターの案内を行うこと、また、気軽に利用できることを認知していただく必要がある。

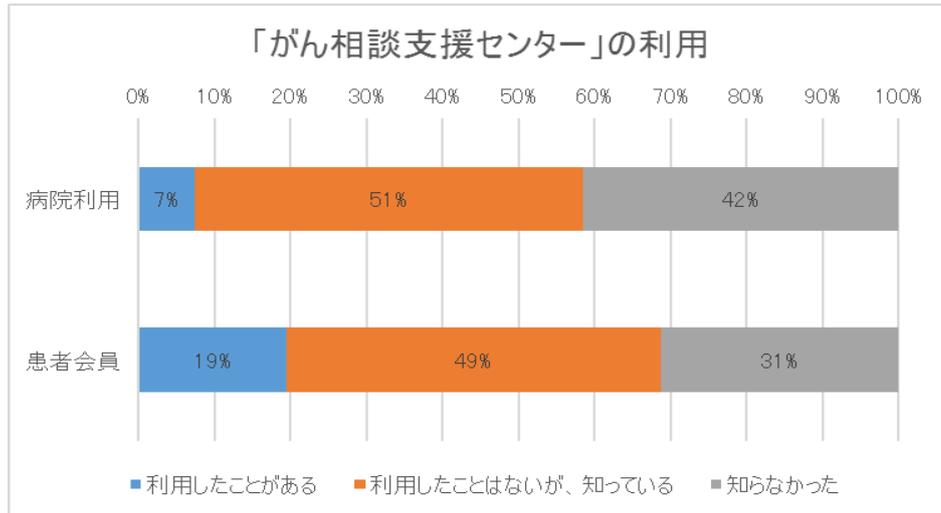
課題を踏まえた具体的な取組
引き続き、千葉県ホームページ、千葉県がん情報「ちばがんナビ」、がんサポートブックにおいてがん相談支援センターについて紹介し、各がん診療連携拠点病院の院内各所においては、相談支援センターの案内を掲示する。また、千葉県がん情報「ちばがんナビ」の認知度の向上を図る。

計画最終年度までの目標（案）

がん相談支援センターは、がんの治療に関する一般的な情報のほか、療養生活、在宅療養する場合の連携する地域の医療機関に関する情報、就労に関することなど、幅広い分野で相談が行えるよう設置されており、がん対策全般において、不可欠な機関であるため、引き続き、がん相談支援センターの認知度の増加を目標としたい。

調査結果等

・がん相談支援センターの認知度（千葉県がん対策に関するアンケート調



・がん相談支援センターの認知度（患者体験調

問31 がん相談支援センターを知っていますか(a もしくはb をお選び下さい)

	粗解析値		補正值		全国値（補正值）	
	回答数	%	代表数	%	代表数	%
1 知っている	272	64.8%	11310	64.6%	316127	64.5%
2 知らない	141	33.6%	5857	33.4%	159980	32.6%
無回答	7	1.7%	345	2.0%	14071	2.9%
合計	420	100.0%	17512	100.0%	490178	100.0%

【がんとの共生】

個別目標	3-7 がん相談支援センターの相談件数
用いる調査	がん診療連携拠点病院現況報告書

計画改定時点	目標	目標年度	現状値	達成状況
64,557件 (H27.1.1~12.31)	増加する	令和5年度 (平成35年度)	49,733件 (H30.1.1~12.31)	未評価 (特殊事情あり)

取組状況
病院を利用する患者やそのご家族だけでなく、地域の住民も気軽に相談できることを周知するとともに、対面だけでなく電話での相談にも応じている。

評価	コメント
B	国立がん研究センターの患者調査において、がん相談支援センターを利用しなかった理由として、相談したいことはなかったと回答した方が6割となっている。

目標達成等に必要な課題
気軽に利用できることについて、病院を利用する患者への認知が足りていないため、効果的な周知を行っていく必要がある。

課題を踏まえた具体的な取組
引き続き、病院を利用する患者やそのご家族だけでなく、地域の住民も気軽に相談できることや、対面だけでなく電話での相談にも応じていることを、千葉県ホームページ、千葉県がん情報「ちばがんナビ」、がんサポートブックにおいて周知する。また、千葉県がん情報「ちばがんナビ」の認知度の向上を図る。

計画最終年度までの目標（案）

がん相談支援センターは、がんの治療に関する一般的な情報のほか、療養生活、在宅療養する場合の連携する地域の医療機関に関する情報、就労に関することなど、幅広い分野で相談が行えるよう設置されており、がん治療及び共生において、重要な役割を担っているため、引き続き、計画策定時点より、相談件数を増加させることを目標としたい。

調査結果等

・がん相談支援センターの相談件数（H30.1.1～12.31）

R3現況報告	相談総件数	新規患者相談件数
01千葉県がんセンター	2,749	1,631
02千葉大学医学部附属病院	9,814	9,736
03千葉医療センター	472	157
04船橋市立医療センター	1,573	1,062
05東京歯科大学市川総合病院	1,316	404
06順天堂大学医学部附属浦安病院	673	280
07松戸市立総合医療センター	1,078	400
08東京慈恵会医科大学附属柏病院	1,195	675
09日本医科大学千葉北総病院	1,556	826
10旭中央病院	3,910	510
11亀田総合病院	1,267	1,197
12君津中央病院	1,792	540
13千葉労災病院	2,272	353
14さんむ医療センター	419	88
15国立がん研究センター東病院	19,647	5,182
	49,733	23,041

・がん相談支援センターの満足度（患者体験調査）

問31-2 利用しなかった理由をお聞かせください(対象:問31-1で「利用したことはない」と回答した人のうち)

		粗解析値		補正值		全国値(補正值)	
		回答数	%	代表数	%	代表数	%
1	必要としていたときには知らなかった	26	11.3%	1067	10.9%	30681	11.4%
2	相談したいことはなかった	142	61.5%	6469	65.9%	163235	60.9%
3	何を相談する場なのかわからなかった	30	13.0%	1232	12.6%	29654	11.1%
4	プライバシーの観点から行きづらかった	3	1.3%	183	1.9%	7580	2.8%
5	自分の相談を受け止めてもらえるか自信がなかった	19	8.2%	794	8.1%	15634	5.8%
6	他の患者の目が気になった	0	0.0%	0	0.0%	3099	1.2%
7	その他	4	1.7%	132	1.3%	7044	2.6%
	無回答	28	12.1%	1027	10.5%	33678	12.6%

\*複数回答設問

【がんとの共生】

個別目標	3-8 がん相談支援センター利用者の満足度
用いる調査	千葉県がん対策に関するアンケート調査（千葉県）

計画改定時点	目標	目標年度	現状値	達成状況
91% (平成29年度)	増加する	令和5年度 (平成35年度)	85% (令和2年度)	やや悪化

取組状況
信頼できる情報に基づいて、がん専門相談員が病院を利用する患者やそのご家族だけでなく、一般の方や、他の病院を利用する方にも広く対応するとともに、対面だけでなく電話での相談にも応じるなど、環境の充実を図っている。

評価	コメント
B	国立がん研究センターの患者調査においても、がん相談支援センターを利用して役に立ったと回答した方が7割にとどまっており、やや悪化傾向である。

目標達成等に必要な課題
国立がん研究センターの患者調査より、がん相談支援センターを利用しなかった理由として、相談したいことはなかったに次いで、何を相談する場なのかわからなかったと回答している方がいることから、がん相談支援センターが、がんに係る広範囲の相談に対応している機関であることを周知していく必要がある。

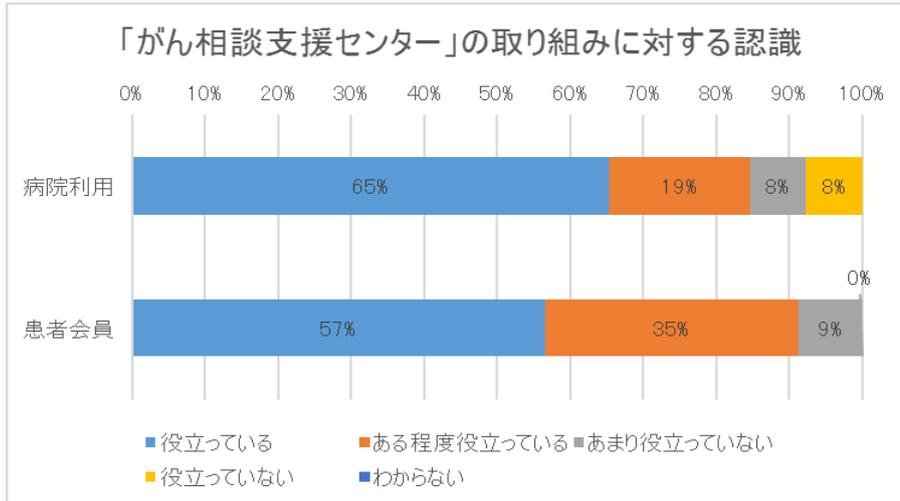
課題を踏まえた具体的な取組
千葉県ホームページ、千葉県がん情報「ちばがんナビ」、がんサポートブックにおいてがん相談支援センターについて紹介するとともに、がんに係る広範囲の相談に対応している機関であることを周知していく。また、「ちばがんナビ」の認知度の向上を図る。

計画最終年度までの目標（案）

利用者の満足度は、がん相談支援センターという機関に対する評価となり、認知度、相談件数などにもつながるため、引き続き、がん相談支援センター利用者の満足度の増加を目標としたい。

調査結果等

・がん相談支援センターの満足度（千葉県がん対策に関するアンケート調



・がん相談支援センターの満足度（患者体験調査）

問31-2 利用しなかった理由をお聞かせください(対象:問31-1で「利用したことはない」と回答した人のうち)

	粗解析値		補正值		全国値（補正值）	
	回答数	%	代表数	%	代表数	%
1 必要としていたときには知らなかった	26	11.3%	1067	10.9%	30681	11.4%
2 相談したいことはなかった	142	61.5%	6469	65.9%	163235	60.9%
3 何を相談する場なのかわからなかった	30	13.0%	1232	12.6%	29654	11.1%
4 プライバシーの観点から行きづらかった	3	1.3%	183	1.9%	7580	2.8%
5 自分の相談を受け止めてもらえるか自信がなかった	19	8.2%	794	8.1%	15634	5.8%
6 他の患者の目が気になった	0	0.0%	0	0.0%	3099	1.2%
7 その他	4	1.7%	132	1.3%	7044	2.6%
無回答	28	12.1%	1027	10.5%	33678	12.6%

\*複数回答設問

【がんとの共生】

個別目標	3-9 ピア・サポーターの活動の場
用いる調査	「ピア・サポーターズサロンちば」の開催実績

計画改定時点	目標	目標年度	現状値	達成状況
14病院で サロン開催 (平成29年度)	増加する	令和5年度 (平成35年度)	14病院 (令和元年度)	ほぼ横ばい

取組状況

令和2年8月から新型コロナウイルス感染症の影響により、リモート開催へと切り替え、「千葉県がんセンター 千葉県地域統括相談支援センター」を事務局に、月に2日開催している。また、その他病院でもパソコン等の操作が出来ない患者をサロンへ繋げる等のサポートを行っている。

評価	コメント
B	新型コロナウイルス感染症の影響により、一時サロンを中止していたが、その後リモートへ切り替え再開しており、現状はほぼ横ばいである。

目標達成等に必要な課題

新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえたうえでの今後の対応を検討していく必要がある。

課題を踏まえた具体的な取組

引き続き、リモートによるサロンを開催していくとともに、対面によるサロンの再開も検討し、リモートと両方を活用しながら、さらに幅広く多くの患者に対応していき、サロンの充実を図る。

計画最終年度までの目標（案）

ネット環境や通信環境によりサロンへの参加が難しい患者や、十分なサポートが行えない等のリモートによる問題を解決できるよう、新型コロナウイルス感染症による影響等を考慮しながら、14病院で対面によるサロンを再開することを目標としたい。

調査結果等

・「ピア・サポーターズサロンちば」開催実績 (H31～R3)

ピア・サポーターの活動

年度	回数	開催日	開催場所	ピア・サポーター数	相談者数	
31年度	第138回	H31.4.23	千葉県がんセンター	10	3	内実習3
31	第139回	R1.5.11	東邦大学医療センター佐倉病院	11	17	内実習4
31	第140回	R1.5.31	順天堂大学医学部附属浦安病院	10	11	内実習3
31	第141回	R1.6.12	船橋市立医療センター	11	14	内実習4
31	第142回	R1.6.28	千葉県がんセンター	9	6	内実習2
31	第143回	R1.7.23	東京歯科大学市川総合病院	9	7	内実習2
31	第144回	R1.7.30	国立がん研究センター東病院	10	17	内実習3
31	第145回	R1.8.7	さんむ医療センター	10	4	内実習3
31	第146回	R1.8.27	千葉県がんセンター	9	8	内実習3
31	第147回	R1.9.2	順天堂大学医学部附属浦安病院	11	4	内実習4
31	第148回	R1.9.27	亀田総合病院	9	7	内実習3
31	第149回	R1.10.4	君津中央病院	10	7	内実習3
31	第150回	R1.10.17	成田赤十字病院	10	4	内実習3
31	第151回	R1.11.5	千葉県がんセンター	9	6	内実習3
31	第152回	R1.11.14	船橋中央病院	10	2	内実習4
31	第153回	R1.11.29	日本医科大学千葉北総病院	10	16	内実習3
31	第154回	R1.12.5	千葉医療センター	11	11	内実習4
31	第155回	R1.12.16	旭中央病院	8	13	内実習3
31	第156回	R2.1.10	千葉県がんセンター	8	8	内実習1
31	第157回	R2.1.20	順天堂大学医学部附属浦安病院	10	5	内実習3
31	第158回	R2.2.6	東京慈恵会医科大学附属柏病院	10	10	内実習3
31	中止	R2.2.28	千葉大学医学部附属病院			中止 (コロナ)
31	中止	R2.3.5	国立がん研究センター東病院			中止 (コロナ)
31	中止	R2.3.17	千葉徳洲会病院			中止 (コロナ)
31	小計	21		205	180	
2	令和2年度	中止	R2.4.21 千葉県がんセンター			中止 (コロナ)
2		中止	R2.5.7 順天堂大学医学部附属浦安病院			中止 (コロナ)
2		中止	R2.5.29 日本医科大学千葉北総病院			中止 (コロナ)
2		中止	R2.6.15 旭中央病院			中止 (コロナ)
2		中止	R2.6.29 船橋市立医療センター			中止 (コロナ)
2		中止	R2.7.15 東京歯科大学市川総合病院			中止 (コロナ)
2		中止	R2.7.28 国立がん研究センター東病院			中止 (コロナ)
2		中止	R2.8.5 さんむ医療センター			中止 (コロナ)
2		第159回	R2.9.16 リモートサロン	3	1	内実習1
2		第160回	R2.10.8 リモートサロン	3	1	内実習1
2		第161回	R2.10.14 リモートサロン	3	1	内実習1
2		第162回	R2.11.6 リモートサロン	3	2	内実習1
2		第163回	R2.12.7 リモートサロン	3	2	
2	小計	5		15	7	
3	3年度	第164回	R3.4.6 リモートサロン	3	1	
3		第165回	R3.4.26 リモートサロン	3	1	
3		第166回	R3.5.31 リモートサロン	6	2	
3		第167回	R3.6.17 リモートサロン	6	2	
3		第168回	R3.6.29 リモートサロン	6	1	
3		第169回	R3.7.27 リモートサロン	3	2	
3		第170回	R3.8.12 リモートサロン	6	2	
3		第171回	R3.9.30 リモートサロン	6	1	
3		第172回	R3.10.14 リモートサロン	3	1	
3		第173回	R3.10.26 リモートサロン	3	1	
3		第174回	R3.11.11 リモートサロン	3	1	
3		第175回	R3.11.29 リモートサロン	3	1	
3		第176回	R3.12.13 リモートサロン	4	1	
3	小計	13		55	17	
合計	176回			1,494	1,604	

【がんとの共生】

個別目標	3-10 「千葉県がん情報 ちばがんナビ」の認知度の増加
用いる調査	千葉県がん対策に関するアンケート調査

計画改定時点	目標	目標年度	現状値	達成状況
17% (平成29年度)	増加する	令和5年度 (平成35年度)	19.3% (令和2年度)	概ね順調

取組状況
国、国立がん研究センターがん対策研究所、医療機関、市町村、患者会等と連携し、情報を発信するとともに、毎年「千葉県がんサポートブック」を発行し、関係機関へ配布する等、認知度の向上に努めている。

評価	コメント
A	「千葉県がん情報 ちばがんナビ」の認知度は増加しており、目標を達成している。

目標達成等に必要な課題
「千葉県のがん対策に関するアンケート」において、「千葉県がん情報 ちばがんナビ」について、知らないと回答した方の割合が2割程度だが増加傾向ではあることから、県民への認知度を向上させるよう、効果的な周知を行っていく必要がある。

課題を踏まえた具体的な取組
引き続き、国、国立がん研究センターがん対策研究所、医療機関、市町村、患者会等と連携し、さらに地域住民やがん患者のニーズに合わせた情報を充実させ、発信していくとともに、「千葉県がんサポートブック」を発行し、関係機関へ配布する。

### 計画最終年度までの目標（案）

「千葉県がん情報 ちばがんナビ」は、がんと診断されたり、治療を受ける際に役立つ情報が掲載されているなど、がん治療及び共生において有用であることから、引き続き、「千葉県がん情報 ちばがんナビ」の認知度の増加を目標としたい。

### 調査結果等

#### ・ちばがんナビの認知度（千葉県がん対策に関するアンケート調査）

